ライセンスの管理

- ライセンスマネージャの概要 （1 ページ）
- Cisco スマート アカウントとの統合 （5 ページ）
- ライセンスマネージャの設定 （6 ページ）
- ライセンスの使用状況と有効期限の可視化 （8 ページ）
- ライセンス使用量の履歴傾向の表示 （9 ページ）
- ライセンス詳細の表示 （10 ページ）
- ライセンスレベルの変更 （11 ページ）
- スマートライセンス対応デバイスの自動登録 （13 ページ）
- スマートライセンス対応デバイスのデイゼロ設定 （14 ページ）
- デバイスへの特定ライセンス予約またはパーマネントライセンス予約の適用 （14ページ）
- デバイスに適用された SLR または PLR のキャンセル （17 ページ）
- 承認コードのインストールと高セキュリティライセンスの有効化 （18 ページ）
- 高セキュリティライセンスの無効化 （19 ページ）
- CSSM へのリソース使用状況詳細のアップロード （19 ページ）
- デバイスのスループットの変更 （20 ページ）
- バーチャルアカウント間のライセンスの転送 （21 ページ）
- スマートライセンス対応デバイスでの顧客タグの管理 （21 ページ）
- ライセンスポリシーの変更 （22 ページ）

ライセンスマネージャの概要

Catalyst Center ライセンスマネージャ機能は、スマート アカウント ライセンスを含む、シスコ製品のすべてのライセンスの可視化と管理に役立ちます。

ライセンスマネージャにアクセスするには、メニューアイコンをクリックして次を選択します。**[Tools]** > **[License Manager]**の順に選択します。[License Manager] ウィンドウには、次の情報のタブが含まれています。

- **概要には、次のデバイスカテゴリが含まれています。**
  - [Switch]：すべてのスイッチのライセンスの購入情報と使用情報が表示されます。

- [Router]：すべてのルータのライセンスの購入情報と使用情報が表示されます。
- [Wireless]：すべてのワイヤレスコントローラとアクセスポイントについて、購入情済みで使用中のライセンス情報が表示されます。
- [ISE]：Cisco Identity Services Engine（ISE）によって管理されているデバイスのライセンスの購入情報と使用情報が表示されます。

- [Licenses]：[License Summary] には、すべてのシスコデバイスにわたるすべてのタイプのライセンスについて、Cisco Smart Software Management（CSSM）から購入したライセンスの総数、期限切れ間近のライセンスの数、コンプライアンス違反の詳細が表示されます。
- [Devices]：[Devices] テーブルには、ライセンスタイプ、ライセンスの有効期限、ライセンスモード、仮想アカウント、サイト、および Catalyst Center による管理対象の各デバイスの登録ステータスが表示されます。
- [Reporting]：[Smart License Compliance] カードを使用すると、[Smart License Compliance] ワークフローを開始できます。
- [Sync Status]：スマートライセンスポリシー（SLP）に関するコンプライアンスの表には、Catalyst Center から CSSM に送信されるライセンス使用状況レポートのタイムライングラフが表示されます。

ライセンスを管理するには、各タブに一覧表示されているテーブルの上部にあるコントロールを使用できます。次の表は各コントロールについて説明したものです。

（注） すべてのタブですべてのコントロールを使用できるわけではありません。

表 *1*：ライセンス管理のコントロール

制御	説明
Filter	[Filter] をクリックして 1 つ以上のフィルタ値を指定し、[Apply] をクリックします。複数のフィルタを適用することができます。フィルタを削除するには、対応するフィルタ値の横にある **x** アイコンをクリックします。
Change Cisco License	1 つ以上のライセンスを選択し、**[Actions]** > **[Change Cisco License]** の順に選択して、選択したライセンスのレベルを Essentials または Advantage に変更します。このコントロールを使用してライセンスを削除することもできます。詳細については、ライセンスレベルの変更 （11 ページ）を参照してください。
Change Virtual Account	1 つ以上のライセンスを選択し、**[Actions]** > **[Change Virtual Account]** の順に選択して、ライセンスの管理に使用されるバーチャルアカウントを指定します。
[Manage Smart License] > **[Register]**	スマートライセンスが有効になっているデバイスを 1 つ以上選択し、**[Actions]** > **[Manage Smart License]** > **[Register]** の順に選択して、スマートライセンスが有効になっているデバイスを登録します。

制御	説明
[Manage Smart License] > [Deregister]	スマートライセンスが有効になっているデバイスを 1 つ以上選択し、**[Actions]** > **[Manage Smart License]** > **[Deregister]** の順に選択して、スマートライセンスが有効になっているデバイスを登録解除します。
[Manage License Reservation] > [Enable License Reservation]	特定ライセンス予約（SLR）または永久ライセンス予約（PLR）を適用するデバイスを選択し、**[Actions]** > **[Manage License Reservation]** > **[Enable License Reservation]** の順に選択します。
[Manage License Reservation] > [Update License Reservation]	デバイスが SLR 登録済みの状態である必要があります。 ワイヤレスデバイスまたはスイッチに適用されている SLR を、ワイヤレス コントローラ パッケージで更新できます。 SLR を更新するデバイスを選択し、**[Actions]** > **[Manage License Reservation]** > **[Update License Reservation]** の順に選択します。
[Manage License Reservation] > [Cancel/Return License Reservation]	デバイスを選択し、**[Actions]** > **[Manage License Reservation]** > **[Cancel/Return License Reservation]** の順に選択して、デバイスに適用された SLR または PLR を取り消すか、返却します。
[Manage License Reservation] > [Factory License Reservation]	デバイスを選択し、**[Actions]** > **[Manage License Reservation]** > **[Factory License Reservation]** の順に選択して、工場出荷時にデバイスにインストールされている SLR を有効にします。
Recent Tasks	[Recent Tasks] をクリックして、最近実行された 50 件すべての Catalyst Center タスクを表示します。ドロップダウンを使用してステータスが [Success]、[Failure]、または [In Progress] のタスクのみを表示します。
License Usage	[License Usage] をクリックすると、すべてのタイプのライセンスについて、ライセンス使用率が表示されます。
Refresh	[Refresh] をクリックすると、現在のデータを使用してウィンドウがリロードされます。
Find	[Find] フィールドに検索用語を入力し、いずれかの列にその用語が含まれている、リスト内のライセンスをすべて検索します。検索文字列の任意の場所で、ワイルドカードとしてアスタリスク（*）を使用します。
Show Records	テーブルの各ページに表示するレコードの総数を選択します。

ライセンステーブルには、各デバイスに表示される情報が表示されます。すべての列はソートに対応しています。列ヘッダーをクリックすると、行が昇順にソートされます。列ヘッダーをもう一度クリックすると、行が降順にソートされます。

（注） すべてのタブですべての列が使用されるわけではありません。また一部の列は、デフォルトの列ビュー設定で非表示になります。非表示の列を表示するには、歯車アイコンをクリックし、[Edit Table Columns] で、テーブルに表示する列を選択します。

表 2: ライセンス使用情報

カラム	説明
Device Type: Device Series	デバイスの製品シリーズの名前（例：Catalyst 3850 シリーズ イーサネット スタッカブル スイッチ）。詳細については、ライセンス詳細の表示 （10 ページ）を参照してください。
Device Type: Total Devices	Catalyst Center によってアクティブに管理されている、この製品シリーズのデバイスの総数。
Purchased Cisco Licenses	この製品シリーズのデバイスの購入済み Catalyst Center サブスクリプション ライセンスの総数。
Purchased Licenses: Network/Legacy	この製品シリーズのデバイスの購入済み永久ライセンスの総数。 • Network • Legacy
Used Licenses	この製品シリーズのデバイスに適用された Catalyst Center サブスクリプション ライセンスの総数。
Used Licenses: Network/Legacy	この製品シリーズのデバイスの永久ライセンスの総数。 • Network • Legacy
Feature Licenses (applicable only for Routers)	セキュリティ、AVC などの特定機能のために購入したライセンスの数。

表 3: すべてのライセンス情報

カラム	説明
Device Name	デバイスの名前。詳細については、ライセンス詳細の表示 （10 ページ）を参照してください。
Device Family	スイッチやハブなど、Catalyst Center で定義されているデバイスのカテゴリ。
IP Address	デバイスの IP アドレス。

カラム	説明
Device Series	表示されているデバイスが属しているシスコ製品シリーズの正式名称（例：Cisco Catalyst 3850 シリーズ イーサネット スタッカブル スイッチ）。
Cisco License	Catalyst Center のライセンスレベル。
Cisco License Expiry	Catalyst Center ライセンスの有効期限。
License Mode	Catalyst Center のライセンスモード。
Virtual Account	デバイスのライセンスを管理しているシスコバーチャルアカウントの名前。 バーチャルアカウントとサイト階層は別個のエンティティであり、相互接続されていません。 バーチャルアカウント名に/、\、=のいずれかの文字が含まれている場合、ライセンス操作が失敗する可能性があります。Cisco SSM ポータル（software.cisco.com）を使用してバーチャルアカウント名からこれらの文字を削除し、[License Manager Overview] ウィンドウから更新を実行することを推奨します。
Site	デバイスが設置されている Catalyst Center サイト。
Registration Status	デバイスの登録ステータス。
Authorization Status	デバイスの認証ステータス。
Reservation Status	デバイスの予約ステータス。
Last Updated Time	テーブル内のこのエントリが最後に更新された時刻。
MAC Address	ライセンスデバイスの MAC アドレス。
Term	Catalyst Center サブスクリプション ライセンスが有効である合計期間。
Days to Expiry	Catalyst Center ライセンス期間が期限切れになるまでの残りの日数。
Software Version	デバイスで現在実行されているネットワーク オペレーティング システムのバージョン。

Cisco スマート アカウントとの統合

Catalyst Center は、簡素化された柔軟性のある自動ソフトウェア、組織全体のデバイス ライセンスの購入、展開、および管理を提供する Cisco スマート アカウント、オンラインのシスコ サービスをサポートしています。複数のシスコ スマート アカウントを追加できます。

複数のシスコ スマート アカウントがある場合、1 つのアカウントがデフォルトとして指定され、ライセンスマネージャで可視化およびライセンス操作（登録、ライセンスレベルの変更など）に使用します。

バーチャルアカウントはCiscoスマートアカウント内の下位区分で、スマートアカウントに関連付けられたライセンスと権限付与の制御を強化します。バーチャルアカウントとサイト階層は別個のエンティティです。相互接続されていません。

デフォルトのシスコ スマート アカウントを変更した後、CSSMからデータを取得し、[License Manager Overview] および [All License] ウィンドウに表示するまでに数分かかります。

任意のCiscoスマートアカウントを削除できます。

Ciscoスマートアカウントをすでに保有している場合、Catalyst Centerを使用して次のことができます。

- ライセンスの使用量と有効期限日を追跡する
- ユーザーが介入せずに、新しいライセンスを適用および有効化する
- Essentialsから Advantage（あるいはその逆）に各デバイスのライセンスレベルを上げ、新しい機能ライセンスのレベルでデバイスをリブートする
- 未使用ライセンスを特定して再適用する。

これらの操作は、Catalyst Center を離れることなく自動的に実行できます。

ライセンスマネージャの設定

Catalyst Centerライセンスマネージャツールを使用する前に、Ciscoスマートアカウントへのアクセスを設定する必要があります。

始める前に

- この手順を実行するには、SUPER-ADMIN-ROLE権限または適切なRBAC範囲があることを確認します。
- スマート アカウントの Cisco ユーザー ID とパスワードを収集します。
- スマートアカウントが複数ある場合、Catalyst Center で使用するスマートアカウントを選択し、そのアカウントのユーザー ID とパスワードを収集します。
- スマートアカウントを有効にするには、Catalyst Centerが tools.cisco.com に到達できる必要があります。
- Catalyst Center のデバイスにライセンスを適用するには、デバイスがインベントリに存在し、サイトが割り当てられ、必要なドメインに接続されていることを確認します。
  - id.cisco.com
  - apx.cisco.com
  - commerce.cisco.com
  - smartreceiver.cisco.com

- 任意のファイアウォールまたはプロキシで、『*Cisco Catalyst Center Installation Guide*』に記載されているすべての使用できるポート、FQDN、およびURLが許可されていることを確認します。

手順

ステップ 1 Catalyst Center システム管理者のユーザー名とパスワードを使用してログインします。

ステップ 2 メインメニューから次を選択します。**[System]** > **[Settings]** > **[Cisco.com Credentials]** の順に選択します。

ステップ 3 [Cisco.com Credentials] に、cisco.com アカウントのユーザー名とパスワードを入力します。

ステップ 4 メインメニューから次を選択します。**[System]** > **[Settings]** > **[Smart Account]** の順に選択します。

ステップ 5 [Smart Account] で [Add] をクリックし、スマートアカウントのユーザー名とパスワードを入力します。

ステップ 6 [Save] をクリックします。

ステップ 7 スマートアカウントが複数ある場合は、[Add] をクリックして追加のアカウントを入力します。

ステップ 8 スマートアカウントが複数ある場合は、デフォルトに設定するアカウントを 1 つ選択します。ライセンスマネージャは、可視化およびライセンス操作にデフォルトのアカウントを使用します。デフォルトのスマートアカウントを変更するには、次の手順を実行します。

a) 選択したスマートアカウントの横にある [Change] をクリックします。

b) アクティブなスマートアカウントを変更し、デフォルトに設定するスマートアカウントを選択します。

c) [Apply] をクリックします。
デフォルトのアカウントを変更した後、CSSMからデータを取得し、[License Manager Overview] ウィンドウと [All License] ウィンドウに表示するまでに数分かかります。

ステップ 9 スマートアカウントを編集するには、[Actions] 列にある三点リーダーをクリックし、[Edit] を選択します。

ステップ 10 スマートアカウントを削除するには、[Actions] 列にある三点リーダーをクリックし、[Delete] を選択します。

ステップ 11 仮想または下位のスマートアカウント名とパスワードを使用してスマートアカウントにアクセスするには、[Link Your Smart Account] で次のいずれかを選択します。

- [Use Cisco.com user ID]：Cisco.com とスマートアカウントのログイン情報が同じ場合。
- [Use different credentials]：Cisco.com とスマートアカウントのログイン情報が異なる場合は、スマートアカウントのログイン情報を入力します。

ステップ 12 [View all virtual accounts] をクリックし、すべての仮想スマート ライセンス アカウントを表示します。

次のタスク

Catalyst Center を、Cisco Plug and Play Connect のコントローラとして、リダイレクト サービス用に Cisco スマート アカウントに登録します。Cisco Plug and Play Connect クラウドポータルか

ら、デバイスインベントリを Catalyst Center プラグアンドプレイに同期できます。詳細については、『*Cisco Catalyst Center User Guide*』の「Register or Edit a Virtual Account Profile」[英語]を参照してください。

ライセンスの使用状況と有効期限の可視化

Catalyst Center では、購入済みのライセンスのグラフィカル表示、使用中のライセンス数（デバイスに割り当てられている数）、およびその期間を表示できます。

手順

ステップ 1 メインメニューから次を選択します。**[Tools]** > **[License Manager]** の順に選択します。

ステップ 2 [Overview] タブの Catalyst Center には、アクティブなスマートアカウントの名前が表示されます。[Virtual Account] ドロップダウンリストから、ライセンスの詳細を表示するバーチャルアカウントを選択します。

ステップ 3 デバイスカテゴリボタンをクリックして、対応するライセンス使用状況の詳細（[Switches]、[Routers]、[WLC]、または [ISE]）。

ライセンスの使用状況の円グラフには、購入済みのライセンスの総数と選択したデバイスカテゴリで現在使用中のライセンスの数が表示されます。また、グラフには各合計内での Essentials ライセンスと Advantage ライセンスの割合も示されます。

購入したライセンスの数は、Cisco Smart Software Manager（CSSM）から取得されます。使用されているライセンスの数は、Catalyst Center によって管理されているデバイスから取得されます。

ライセンスの使用状況のテーブルには、使用されているライセンスと利用可能なライセンスの小計が、製品ファミリ名別にアルファベット順でリストされます。

ステップ 4 特定の製品ファミリの詳細を表示するには、[Device Series] 列で目的の製品ファミリの名前をクリックします。

Catalyst Center に、選択した製品ファミリに関する詳細が表示されます。

ステップ 5 ライセンス期間のグラフィカル表示を確認するには、[Cisco License Timeline] セクションまでスクロールダウンします。各製品ファミリのタイムライングラフでは、設定したスマートアカウントのライセンスの期限日が視覚的に表示されます。

（注）
このセクションは、[ISE] デバイスカテゴリでは使用できません。

ライセンス使用量の履歴傾向の表示

Catalyst Center では、CSSM で購入および使用されたすべてのライセンスの履歴傾向を、日次、週次、および月次で表示できます。CSSM には、最大 1 年間の履歴情報が保存されます。

この手順を使用して、ライセンス使用量の履歴傾向を表示します。

始める前に

CSSM のスマートアカウントに Catalyst Center を登録します。詳細については、Cisco スマートアカウントとの統合 （5 ページ）を参照してください。

手順

ステップ 1 メインメニューから次を選択します。 **[Tools]** > **[License Manager]** > **[Licenses]** の順に選択します。

- [License Summary] エリアには、CSSM から購入した Catalyst Center サブスクリプション ライセンスの総数が表示されます。
- [Smart Account] エリアには、スマートアカウントに関する詳細が表示されます。
- 次のエリアでは、サブスクリプション ライセンスの合計数、期限切れのサブスクリプション ライセンス、非準拠のサブスクリプション ライセンスが表示されます。
  - **CNS ESSENTIALS**
  - **CNS ADVANTAGE**
  - **Cisco DNA ESSENTIALS**
  - **Cisco DNA ADVANTAGE**
  - **NETWORK ESSENTIALS**
  - **NETWORK ADVANTAGE**
- [License] ウィンドウのテーブルに、検出されたデバイスとそのライセンスが表示されます。[Focus] ドロップダウンリストから必要なビューを選択できます。
  - バーチャルアカウントビュー
  - ライセンスビュー
  - デバイスシリーズビュー
  - デバイスタイプビュー
  - ライセンスタイプビュー

ステップ 2 選択したライセンスの履歴情報を表示するには、そのデバイスの行にあるライセンスリンクをクリックします。

ライセンス詳細 スライドインペインに、選択したデバイスの完全なライセンスの詳細とライセンスの履歴が表示されます。

（注）
ライセンス詳細 スライドインペイン のタイトルが、選択したデバイスのタイトルと一致します。

ステップ 3 ライセンス詳細 スライドインペイン で、[Frequency] ドロップダウンリストから履歴情報の頻度を選択します。

利用可能なオプションは下記のとおりです。

- [Daily]：最初の日におけるライセンスデータのスナップショットを表示します。
- [Weekly]：月曜日のライセンスデータのスナップショットを表示します。
- [Monthly]：その月の 1 日におけるライセンスデータのスナップショットを表示します。

頻度の選択に応じて、[Purchased]、[In Use]、および [Balance] のライセンスのライセンスデータを示すグラフが表示されます。

[License History] テーブルは、頻度の選択に応じて、[Date]、[Purchased]、[In Use]、および [Balance] に基づいてライセンス履歴情報をフィルタ処理します。

（注）
CSSM は前日のデータのみを提供するため、ライセンス履歴情報は常に 1 日前のデータです。Catalyst Center は、CSSM からライセンスの履歴情報を毎日定期的に取得します。

ライセンス詳細の表示

Catalyst Center でライセンスの詳細を見つけて表示するには、いくつかの方法があります。たとえば、[License Manager] ウィンドウの [Switches]、[Routers]、[Wireless]、[ISE]、または [Devices] タブでライセンスの使用状況や期間のグラフをクリックできます。各グラフには、製品ファミリ内のライセンスに関する集約された情報が表示されます。

単一のデバイスのすべてのライセンスの詳細を表示するには、ライセンスマネージャの [Devices] テーブルを使用します。

手順

ステップ 1 メインメニューから次を選択します。**[Tools]** > **[License Manager]** > **[Devices]** の順に選択します。

[License Manager] ウィンドウには、検出されたすべてのデバイスと、それらのライセンスの一覧を示すテーブルが表示されます。テーブルには、デバイスの種類やライセンスの期限日など、基本的なデバイスおよびライセンスの詳細が含まれています。

ステップ 2 必要なライセンス詳細のデバイスを見つけるには、テーブルをスクロールします。デバイスが見つからない場合に使用できるオプションを以下に示します。

- [Filter]： をクリックして、該当するフィールドにフィルタ条件を入力します。（たとえば、[Device Name] フィールドにデバイス名の全体または一部を入力）。フィルタ条件を複数のフィールドに入力することができます。[Apply] をクリックすると、テーブルにはフィルタ条件に一致する情報を表示する行のみが表示されます。

  特定のサイトに属するデバイスを表示する場合は、左側のペインでそのサイトまで移動してクリックします。フィルタ処理されて該当するデバイスが表示されます。サイト階層を示すサイトマーカーがページの上部に表示されます。

- [Find]：[Find] フィールドをクリックし、テーブルの列のいずれかに検索するテキストを入力します。**Enter** を押すと、テーブルは [Find] フィールドの入力に一致するテキストが含まれる最初の行にスクロールします。

- [Customize]：歯車アイコンをクリックし、[Edit Table Columns] で、テーブルに表示する列を選択します。たとえば、[Device Series] を選択解除するか、[Days to Expiry] を選択します。[Apply] をクリックすると、テーブルに選択した列のみが表示されます。

ステップ 3 必要なデバイスが見つかったら、該当するデバイスの行の [Device Name] リンクをクリックします。

Catalyst Center に [License Details] スライドインペイン が表示され、選択したデバイスのすべてのライセンス詳細情報とライセンス履歴が示されます。[Actions] には、デバイスまたはそのライセンスで実行できるアクションが表示されます。

完了したら をクリックし、[License Details] スライドインペイン を閉じます。

ライセンスレベルの変更

次のライセンスタイプについて、デバイスのライセンスレベルを Essentials または Advantage にアップグレードまたはダウングレードできます。

- DNA
- CNS

（注）

- デバイスのライセンスタイプは変更できません。対応するライセンスタイプのライセンスレベルのみを変更できます。
- ネットワークライセンスの変換は、Cisco Catalyst 9000 デバイスファミリの製品でのみ使用できます。この変換は、Catalyst Center のライセンスレベルが変更されると暗黙的に処理されます。
- デバイスのライセンスレベルは、ルータ、スイッチ、ワイヤレスコントローラなど、一度に 1 つのファミリから変更できます。

Catalyst Center サブスクリプション ライセンスでライセンスレベルを更新できます。デバイスのライセンスレベルを変更すると、Catalyst Center は、スマートアカウントを使用して、自動的にライセンスをダウンロードして適用します。

ライセンスレベルを変更した後、デバイスを再起動すると変更が有効になります。Cisco Catalyst 3560-CX シリーズ スイッチや Cisco AireOS ワイヤレスコントローラ などのデバイスの場合、再起動は必要ありません。

手順

ステップ 1 メインメニューから次を選択します。**[Tools]** > **[License Manager]** > **[Devices]** の順に選択します。

[License Manager] ウィンドウには、検出されたデバイスと、各デバイスのライセンスの一覧を示すテーブルが表示されます。

ステップ 2 [Find] を使用するか、テーブルをスクロールして、ライセンスレベルを変更するデバイスを検索します。デバイスの検索で問題が発生したり、複数のデバイスを選択したりする場合は、「ライセンス詳細の表示 （10 ページ）」を参照してテーブルを変更し、必要なデバイスだけを表示します。

ステップ 3 ライセンスレベルを変更するデバイスの横にあるチェックボックスをオンにします。

ステップ 4 **[Actions]** > **[Change License]** > **[Change Cisco License]**を選択します。

ステップ 5 複数のデバイスファミリ（スイッチやワイヤレスコントローラなど）からデバイスを選択した場合は、次の手順を実行します。

a) ライセンスレベルを変更するデバイスファミリ（[Routers]、[Switch]、または [Wireless]）の横にあるオプションボタンをクリックします

b) [Continue] をクリックします。

ステップ 6 必要なライセンスレベルを選択します。

a) デバイスに必要なライセンスレベルをクリックします。

現在のライセンスレベルに基づいて、Catalyst Center には使用可能なライセンスレベル（[Essentials] または [Advantage]）のみが表示されます。

デバイスからライセンスを削除するには、[Remove] をクリックします。

（注）

デバイスから CNS ライセンスを削除することはできません。CNS ライセンスを削除すると、デバイスはデフォルトで CNS Advantage ライセンスを使用します。

b) 以下から必要なライセンスタイプをクリックします。

- **すべて**
- **DNA**
- **CNS**

c) [Continue] をクリックします。

ステップ 7 ライセンスレベルが更新されたときにデバイスを再起動するには、[Reboot device on update] チェックボックスをオンにします。

ステップ 8 （任意） [Task Name] フィールドで、タスク名を更新します。

ステップ 9 デバイスのライセンスレベルを更新するスケジュールを選択します。

- [Now]：ライセンスレベルをただちに更新し、デバイスを再起動します。
- [Later]：ライセンスレベルを更新してデバイスを再起動する日付と時刻をスケジュールします。

ステップ 10 [Confirm] をクリックします。

ステップ 11 [Recent Tasks] リンクをクリックして、[Recent Tasks] ウィンドウを起動します。

[Recent Tasks] ウィンドウでライセンスレベル変更タスクのステータスを確認できます。

スマートライセンス対応デバイスの自動登録

スマートライセンス（SL）が有効なデバイスの自動登録を有効化することができます。自動登録を有効化すると、Catalyst Center に追加される SL が有効なデバイス（ただしスマートライセンスポリシーで [SLP] が有効なデバイスは除く）は、選択したバーチャルアカウントに自動登録されます。

（注） 自動登録はスマートプロキシモードではサポートされていません。

手順

ステップ 1 Catalyst Center システム管理者のユーザー名とパスワードを使用してログインします。

ステップ 2 メインメニューから次を選択します。**[System]** > **[Settings]** > **[Cisco Accounts]** > **[Smart Account]**の順に選択します。

ステップ 3 [License] をクリックします。

ステップ 4 [Auto register smart license enabled device] チェックボックスをオンにします。

ステップ 5 仮想アカウントを選択します。

ステップ 6 [Apply] をクリックします。

スマートライセンス対応デバイスのデイゼロ設定

自動登録が有効化される前に Catalyst Center に追加されたデバイスは、自動登録されません。登録されていないスマートライセンス対応デバイスを表示するには、[All Licenses] ウィンドウを開きます。

手順

ステップ 1 メインメニューから次を選択します。**[Tools]** > **[License Manager]** > **[Devices]** の順に選択します。

[License Manager] ウィンドウには、自動登録されていない SL 対応デバイスの数と、検出されたデバイスとそのライセンスの一覧が表示されたテーブルのバナーメッセージが、自動登録を設定するリンクとともに表示されます。

また、[Registration Status] 列を選択して、未登録のデバイスをフィルタリングすることもできます。

ステップ 2 登録する SL 対応デバイスを選択し、**[Actions]** > **[Manage Smart License]** > **[Register]**の順に選択します。

ステップ 3 仮想アカウントを選択して [Continue] をクリックします。

ステップ 4 デバイスを登録するには、次のいずれかを実行します。

- すぐにデバイスを登録する場合は、[Now] を選択し、[Confirm] をクリックします。
- 後でデバイスを登録する場合は、[Later] を選択し、日時を指定します。スケジュールのパラメータの指定が終わったら、[Confirm] をクリックします。

デバイスへの特定ライセンス予約またはパーマネントライセンス予約の適用

スマートライセンスでは、スマートデバイスのインスタンスによって Cisco Smart Software Management（CSSM）と定期的に同期して、ライセンスステータスの最新化とコンプライアンスの報告が行われるようにする必要があります。一部のお客様は、インターネットアクセスが制限された高度に保護されたネットワーク内にあるデバイスを使用しています。このようなタイプのネットワークでは、デバイスは定期的に CSSM と同期してコンプライアンス違反を表示することができません。このようなお客様の環境をサポートするため、特定ライセンス予約（SLR）およびパーマネントライセンス予約（PLR）が導入されました。Catalyst Center のお客

様は、ライセンスマネージャで API ベースのワークフローを使用して CSSM から安全にライセンスを予約できます。Catalyst Center では、ステージング環境で CSSM に一度接続すれば、デバイスから SLR モードまたは PLR モードでシスコに接続する必要はありません。CSSM への接続やステージングが実行できない場合は、CSSM で利用できる手動 SLR/PLR ワークフローが使用できます。

SLR によってお客様は、製品インスタンスにノードロック ライセンス ファイル（SLR 承認コード）をインストールできます。このライセンスファイルによって、個別の（特定の）ライセンス（権限付与タグ）が有効化されます。

PLR によってお客様は、製品にすべてのライセンス済み機能を有効化する承認コードをインストールできます。

SLR と PLR の両方に、スマートアカウントのレベルでの事前承認が必要です。サポートが必要な場合は、licensing@cisco.com にご連絡ください。

デバイスと Catalyst Center の両方が CSSM に接続されている場合に SLR または PLR を有効にする方法については、デバイスと Catalyst Center が CSSM に接続されている場合の SLR または PLR の有効化 （15 ページ） を参照してください。

デバイスと Catalyst Center が CSSM に接続されていない場合に SLR または PLR を有効にする方法については、デバイスと Catalyst Center が CSSM に接続されていない場合の SLR または PLR の有効化 （16 ページ） を参照してください。

デバイスと Catalyst Center が CSSM に接続されている場合の SLR または PLR の有効化

手順

ステップ 1 メインメニューから次を選択します。**[Tools]** > **[License Manager]** > **[Devices]** の順に選択します。

ステップ 2 SLR または PLR を適用するデバイスを選択して、**[Actions]** > **[Manage License Reservation]** > **[Enable License Reservation]** の順にクリックします。

ステップ 3 [Specific License Reservation (SLR)] または [Permanent License Reservation (PLR)] を選択し、[Continue] をクリックして選択したデバイスの要求コードを取得します。

ステップ 4 選択したデバイスの要求コードが生成されたら、[Continue] をクリックします。

ステップ 5 ライセンスを予約するバーチャルアカウントを選択し、[Continue] をクリックして選択したデバイスの承認コードを生成します。

ステップ 6 承認コードが生成されたら、次のいずれかを実行します。

- SLR をすぐに適用する場合は、デバイスを選択して、[Continue] をクリックします。
- 後で SLR を適用する場合は、[Apply Later] をクリックします。

ステップ 7 [Confirm] をクリックして、SLR/PLR を選択したデバイスに適用します。

[All Licenses] ウィンドウの [Reservation Status] に、更新された最新のデバイスのステータスを表示できるようになりました。

デバイスと Catalyst Center が CSSM に接続されていない場合の SLR または PLR の有効化

CSSM に接続されていないデバイスの SLR または PLR を有効にするには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 メインメニューから次を選択します。**[Tools]** > **[License Manager]** > **[Devices]** の順に選択します。

ステップ 2 SLR または PLR を適用するデバイスを選択して、**[Actions]** > **[Manage License Reservation]** > **[Enable License Reservation]** の順にクリックします。

ステップ 3 [Specific License Reservation (SLR)] または [Permanent License Reservation (PLR)] を選択し、[Continue] をクリックして選択したデバイスの要求コードを取得します。

Telnet を介してデバイスに接続し、要求コードを取得することもできます。

ステップ 4 選択したデバイスの要求コードが生成されたら、[Export] をクリックします。これにより、requestcodes.csv ファイルがダウンロードされます。このファイルには、IP アドレス、デバイスのシリアル番号、および要求コードが含まれています。

ステップ 5 任意の場所にファイルを保存します。

ステップ 6 CSSM から各デバイスの承認コードを取得し、CSV ファイル内で更新します。「CSSM からの承認コードの生成」を参照してください。

ステップ 7 [Upload CSV] リンクをクリックします。

ステップ 8 [Select a file from your computer] リンクをクリックして、保存した CSV ファイルを選択します。

ステップ 9 [Continue] をクリックします。

ステップ 10 ライセンスを予約するバーチャルアカウントを選択し、[Continue] をクリックします。選択したデバイスに SLR または PLR が適用されます。

[All Licenses] ウィンドウの [Reservation Status] に、更新された最新のデバイスのステータスを表示できるようになりました。

CSSM からの認証コードの生成

始める前に

CSSM にログインするには、スマートアカウントのクレデンシャルが必要です。

手順

ステップ 1 **CSSM** にログインします。

ステップ 2 **[Inventory]** > **[Licenses]** > **[License Reservation]** を選択します。[Smart License Reservation] ウィザードが表示されます。

[Licenses] タブの [License Reservation] ボタンは、自分のスマートアカウントで特定ライセンス予約（SLR）を有効にした場合にのみ表示されます。

ステップ 3 [Step 1: Enter Request Code] タブで、[Reservation Request Code] フィールドに要求コードを入力して、[Next] をクリックします。

ステップ 4 [Step 2: Select Licenses] タブで、[Reserve a specific license] チェックボックスをオンにします。

ステップ 5 [Quantity to Reserve] フィールドに、予約するライセンスの数を入力し、[Next] をクリックします。

ステップ 6 [Step 3: Review and Confirm] タブで [Generate Authorization Code] をクリックします。

ステップ 7 [Step 4: Authorize Code] タブで認証コードを取得します。

デバイスに適用された SLR または PLR のキャンセル

デバイスに適用されている SLR または PLR をキャンセルまたは返すことができます。

手順

ステップ 1 メインメニューから次を選択します。 **[Tools]** > **[License Manager]** > **[Licenses]** の順に選択します。

ステップ 2 デバイスをクリックし、**[Actions]** > **[Manage License Reservation]** > **[Cancel/Return License Reservation]**の順に選択します。

ステップ 3 [Cancel] をクリックしてライセンスを返却します。

[All Licenses] ウィンドウの [Reservation Status] に、更新された最新のデバイスのステータスを表示できるようになりました。

承認コードのインストールと高セキュリティライセンスの有効化

シスコでは、デフォルトで250 Mbpsのスループットを提供しています。デバイスのスループットを 250 Mbps 超に増やすには、シスコから承認コードを取得する必要があります。必要に応じて、単一のワークフローまたは個別のワークフローで承認コードをインストールし、高セキュリティ（HSEC）ライセンスを有効にできます。

始める前に

デバイスで Cisco IOS XE リリース 17.3.2 以降が実行されていることを確認します。

手順

ステップ 1 メインメニューから次を選択します。 **[Tools]** > **[License Manager]** > **[Reporting]** の順に選択します。

または、**[Workflows]** > **[Smart License Compliance]** を使用できます。

ステップ 2 [Smart License Compliance] カードをクリックします。

ステップ 3 [Smart License Compliance] ウィンドウで、[Let's Do It] をクリックします。

今後このウィンドウをスキップするには、[Don't show this to me again] チェックボックスをオンにします。

ステップ 4 [Select Smart Account] ウィンドウで、ドロップダウンリストから [Smart Account] と [Virtual Account] を選択します。

ステップ 5 [Next] をクリックします。

ステップ 6 [Choose Sites and Devices] ウィンドウで、承認コードをインストールするデバイスを選択し、[Next] をクリックします。

ステップ 7 [Policy Settings] ウィンドウで、CSSM ポリシーを確認し、[Next] をクリックします。

ステップ 8 [Choose Device Features] ウィンドウで、次の手順を実行します。

a) デバイスを選択します。
b) [Auth Codes] ドロップダウンリストから、[Install] を選択します。
c) [HSEC] ドロップダウンリストから、[Enable] を選択します。
d) [Next] をクリックします。

ステップ 9 [Review Device Features]ウィンドウで、[Next]をクリックします。

ステップ 10 [Installing Device Features] ウィンドウで、承認コードと HSEC インストールステータスを確認し、[Next] をクリックします。

ステップ 11 [Sync Data with Cisco] ウィンドウで [Next] をクリックします。

ステップ 12 [Summary] ウィンドウで承認コードと HSEC インストールステータスを確認したら、[Finish] をクリックします。

高セキュリティライセンスの無効化

無駄な利用を防ぐために、デバイスで HSEC ライセンスを無効化できます。

手順

ステップ 1 メインメニューから次を選択します。 **[Tools]** > **[License Manager]** > **[Reporting]** の順に選択します。

ステップ 2 [Smart License Compliance] カードをクリックします。

ステップ 3 [Smart License Compliance] ウィンドウで、[Let's Do It] をクリックします。

今後このウィンドウをスキップするには、[Don't show this to me again] チェックボックスをオンにします。

ステップ 4 [Select Smart Account] ウィンドウで、ドロップダウンリストから [Smart Account] と [Virtual Account] を選択します。

ステップ 5 [Next] をクリックします。

ステップ 6 [Choose Sites and Devices] ウィンドウで、HSEC ライセンスを無効にするデバイスを選択し、[Next] をクリックします。

ステップ 7 [Policy Settings] ウィンドウで、[Next] をクリックします。

ステップ 8 [Choose Device Features] ウィンドウで、次のアクションを実行します。

a) デバイスを選択します。
b) [HSEC] ドロップダウンリストから、[Disable] を選択します。
c) [Next] をクリックします。

ステップ 9 [Review Device Features]ウィンドウで、[Next]をクリックします。

ステップ 10 [Installing Device Features] ウィンドウで、 HSEC 無効化操作のステータスを確認し、[Next] をクリックします。

ステップ 11 [Sync Data with Cisco] ウィンドウで [Next] をクリックします。

ステップ 12 [Summary] ウィンドウで [Finish] をクリックします。

CSSM へのリソース使用状況詳細のアップロード

リソース使用状況の詳細を CSSM に即座にアップロードしたり、アップロードをスケジュールすることができます。

リソース使用状況の詳細を CSSM にアップロードするために、NETCONF を有効にしたり、サイトにデバイスを追加したりする必要はありません。

手順

ステップ 1 メインメニューから次を選択します。 **[Tools]** > **[License Manager]** > **[Reporting]** の順に選択します。

ステップ 2 [Smart License Compliance] カードをクリックします。

ステップ 3 [Smart License Compliance] ウィンドウで、[Let's Do It] をクリックします。

今後このウィンドウをスキップするには、[Don't show this to me again] チェックボックスをオンにします。

ステップ 4 [Select Smart Account] ウィンドウで、ドロップダウンリストから [Smart Account] と [Virtual Account] を選択します。

ステップ 5 [Next] をクリックします。

ステップ 6 [Choose Sites and Devices] ウィンドウで、リソース使用率の詳細を取得するデバイスを選択し、[Next] をクリックします。

ステップ 7 リソース使用率の詳細を即座にアップロードするには、[Modify Policy] ウィンドウで [Next] をクリックします。定期レポートの頻度を変更するには、次の手順を実行します。

a) [Policy Settings] で、[Reporting Interval] フィールドに対応する [Modify] をクリックします。

b) [Change Reporting Interval] ウィンドウで、値を入力します。

レポート間隔（日数）は、Catalyst Center から CSSM へのリソース使用率の詳細の定期的なアップロードの頻度を示します。アップロードの頻度は増やすことができますが、最小レポート頻度未満に減らすことはできません。

c) [Save] をクリックします。

ステップ 8 [Sync Data with Cisco] ウィンドウで [Next] をクリックします。

ステップ 9 [Summary] ウィンドウで [Finish] をクリックします。

CSSM との同期が成功すると、デバイスで確認応答を受信します。

次のタスク

ライセンス使用状況レポートが失敗したデバイスの数は、別の [Smart License Compliance] カードに [Retry] オプションとともに表示されます。[Smart License Compliance] カードをクリックし、手順をやり直して、失敗したデバイスから CSSM にライセンス使用状況レポートを送信します。

デバイスのスループットの変更

スマートライセンス対応ルータのスループットを変更できます。

手順

ステップ 1 メインメニューから次を選択します。 **[Tools]** > **[License Manager]** > **[Reporting]** の順に選択します。
ステップ 2 変更するデバイスを選択します。
ステップ 3 [More Actions] をクリックし、[Change Throughput] を選択します。
ステップ 4 [Choose Throughput] ウィンドウでスループット値を選択し、[Next] をクリックします。
ステップ 5 [Apply Throughput] ウィンドウで [Next] をクリックします。
ステップ 6 [Recent Tasks] リンクをクリックして、[Recent Tasks] ウィンドウを起動します。

[Recent Task] ウィンドウで [Change Throughput] タスクのステータスを確認できます。

バーチャルアカウント間のライセンスの転送

バーチャルアカウント間でライセンスを転送できます。

手順

ステップ 1 メインメニューから次を選択します。 **[Tools]** > **[License Manager]** > **[Licenses]** の順に選択します。
ステップ 2 転送するライセンスを選択し、[Transfer Licenses] をクリックします。
ステップ 3 [Transfer Licenses] ウィンドウで、バーチャルアカウントを選択します。
ステップ 4 選択した各ライセンスの [Transfer License Count] を入力し、[Transfer] をクリックします。
ステップ 5 [Recent Tasks] リンクをクリックして、[Recent Tasks] ウィンドウを起動します。

[Recent Task] ウィンドウで [License Transfer] タスクのステータスを確認できます。

スマートライセンス対応デバイスでの顧客タグの管理

スマートライセンス対応デバイスに最大4つの顧客タグを追加して、製品インスタンスのテレメトリデータの識別を容易にすることができます。顧客タグを更新および削除することもできます。

手順

ステップ 1 メインメニューから次を選択します。 **[Tools]** > **[License Manager]** > **[Reporting]** の順に選択します。

ステップ 2 顧客タグを追加するデバイスを選択します。

ステップ 3 [More Actions] をクリックし、[Manage Free Form Fields] を選択して、顧客タグを追加、更新、または削除します。

ステップ 4 顧客タグを追加または更新するには、[Free Form Fields] ウィンドウで次の手順を実行します。

a) 顧客タグを入力します。

b) [Save] をクリックします。

ステップ 5 顧客タグを削除するには、[Free Form Fields] ウィンドウで次の手順を実行します。

a) 削除する顧客タグの削除アイコンをクリックします。

b) [Save] をクリックします。

c) [Warning] ウィンドウで [Continue] をクリックします。

ステップ 6 [Recent Tasks] リンクをクリックして、[Recent Tasks] ウィンドウを起動します。

[Recent Tasks] ウィンドウで [Manage Customer Tags] タスクのステータスを確認できます。

ライセンスポリシーの変更

ネットワークデバイスが CSSM に機能の使用状況を報告するレポート間隔を変更できます。

手順

ステップ 1 メインメニューから次を選択します。 **[Tools]** > **[License Manager]** > **[Reporting]** の順に選択します。

ステップ 2 [Smart License] テーブルで、[Modify Policy] をクリックします。

[Modify Policy] ウィンドウに、ポリシー設定と CSSM ポリシーの詳細が表示されます。

ステップ 3 [Policy Settings] で、[Modify] をクリックします。

ステップ 4 [Change Reporting Interval] ウィンドウで、レポート間隔の値を入力します。

ステップ 5 [Save] をクリックします。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。